

第77回国民体育大会式典基本方針及び式典基本構想の改正（案）

1 改正の趣旨

令和4(2022)年に第77回国民体育大会の本県開催が決定したことから、式典基本方針及び式典基本構想に、冬季大会競技会開始式について追記する必要があるため、一部を改正するもの。この改正は、冬季大会競技会開始式及び表彰式に関連する部分の表記の追加及び修正等に限定するものであり、式典基本方針及び式典基本構想の根幹は変更しない。

2 式典基本方針の改正

2 式典の構成 (1) 総合開会式・総合閉会式の次に以下の項目を追加する。

(2) 冬季大会競技会開始式

冬季大会競技会開始式は、国民体育大会冬季大会における各競技会開始式・表彰式に係る指針に規定する各項目で構成する。

3 式典の運営 (1) 総合開会式・総合閉会式に「及び冬季大会競技会開始式」を、(2)には「ただし、冬季大会の表彰式（競技会の種別・種目ごとの表彰式を除く。）については、第77回国民体育大会栃木県準備（実行）委員会が企画し、第77回国民体育大会栃木県実施本部（仮称）が運営に当たる。」を追加する。

3 式典基本構想の改正

3 総合開・閉会式等の概要に以下の項目を追加する。

(3) 冬季大会競技会開始式

① 開催会場 未定

② 基本的な考え方

総合開会式の基本的な考え方を踏襲し、「いちご一会とちぎ国体」の幕開けにふさわしい内容にします。

③ 構成及び展開イメージ

歓迎アトラクション、式典で構成

④ 開始式における式典の流れ（次第）

- 1 競技会開始宣言
- 2 国旗掲揚
- 3 大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚
- 4 栃木県旗・会場地旗掲揚
- 5 大会会長トロフィー返還
- 6 日本スポーツ協会会長または文部科学省あいさつ
- 7 競技会会長（中央競技団体）あいさつ
- 8 歓迎のことば
- 9 選手代表宣誓

※ 次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に発表します。

第 77 回国民体育大会式典基本方針（案）

第 77 回国民体育大会の式典は、国民体育大会開催基準要項（以下「基準要項」という。）及び第 77 回国民体育大会開催基本方針並びに第 77 回国民体育大会開催基本構想を踏まえ、「(スローガン)」のスローガンのもと、「(愛称)」にふさわしい式典とする。

1 基本理念

- (1) 県民総参加のもと、簡素な中にも創意工夫を凝らしながら、感動を共有し、すべての人々の記憶に残る式典とする。
- (2) 美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化などの栃木の魅力を全国に発信する式典とする。
- (3) 訪れる人々を心のこもった「おもてなし」で迎え、出会いと交流により人々の絆が深まる式典とする。

2 式典の構成

式典は、国民体育大会の総合開・閉会式、冬季大会競技会開始式、各競技会の表彰式及び大会旗・炬火リレーで構成する。

(1) 総合開会式・総合閉会式

総合開会式及び総合閉会式は、基準要項第 20 項第 19 項第 3 号に規定する各項目及び基準要項第 20 項第 19 項第 4 号に規定する集団演技並びに役員・選手団入退場で構成する。

(2) 冬季大会競技会開始式

冬季大会競技会開始式は、国民体育大会冬季大会における各競技会開始式・表彰式に係る指針に規定する各項目で構成する。

~~(3) (2) 各競技会表彰式~~

各競技会表彰式は、基準要項第 20 項第 19 項第 5 号及び同細則第 8 項第 7 項の規定する各項目で構成する。

~~(4) (3) 大会旗・炬火リレー~~

大会旗・炬火リレーは、炬火採火、大会旗・炬火リレー及び炬火集火で構成する。

3 式典の企画・運営

(1) 総合開会式・総合閉会式及び冬季大会競技会開始式

総合開・閉会式及び冬季大会競技会開始式は、第 77 回国民体育大会栃木県準備（実行）委員会が企画し、第 77 回国民体育大会栃木県実施本部（仮称）が運営に当たる。

(2) 各競技会表彰式

各競技会の表彰式は、第 77 回国民体育大会栃木県準備（実行）委員会が別に定める要項に基づき、会場地市町村準備（実行）委員会が関係競技団体と協議の上、企画・運営に当たる。ただし、冬季大会の表彰式（競技会の種別・種目ごとの表彰式を除く。）については、第 77 回国民体育大会栃木県準備（実行）委員会が企画し、第 77 回国民体育大会栃木県実施本部（仮称）が運営に当たる。

(3) 大会旗・炬火リレー

大会旗・炬火リレーについては、別に定める要項に基づくものとする。

いちごいちえ 会とちぎ国体

第77回 国民体育大会

夢を感動へ。感動を未来へ。2022



式典基本構想(案)



第77回国民体育大会栃木県準備委員会

目 次

式典基本構想策定にあたって	1
1 大会の概要	2
2 式典の概要	4
3 総合開・閉会式等の概要	
(1) 総合開会式	5
(2) 総合閉会式	6
(3) 冬季大会競技会開始式	7
(4)-(3) 各競技会の表彰式	7
(5)-(4) 大会旗・炬火リレー	8 7
4 式典に係る今後のスケジュール	9 8
5 参考資料等	10 9

式典基本構想策定にあたって

国体は、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力向上を目指し、地方スポーツの振興と地方文化の発展を図ることを目的として、毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。

栃木県では、昭和 55 (1980) 年開催の「栃の葉国体」以来 42 年ぶりとなる平成 34 (2022) 年に、第 77 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」を開催することとなりました。

栃木県で 2 度目の開催となる国体は、「オリンピック・レガシー（遺産）を生かし、県民総力を挙げて、栃木の魅力・実力を世界に発信」を基本目標として定め、「県民総参加で感動を創出する国体」「栃木の魅力を世界に発信する国体」「生涯にわたりスポーツ活動を推進する国体」「地域スポーツの活性化につながる国体」の 4 つの項目を大きな柱として、国体の成功に向けて取り組んで参ります。

特に、総合開・閉会式をはじめとする式典は、栃木の自然や歴史・文化を県内外に発信できる絶好の機会であることから、県民総参加のもと、来県者を温かく迎え、地域の特色を生かしたおもてなしをすることで、栃木の魅力・実力を全国にアピールする場にしたいと考えています。

この式典基本構想は、平成 28 (2016) 年に策定した式典基本方針を踏まえた上で、式典に関する基本的な考え方を明らかにするもので、「いちご一会とちぎ国体」における式典全体の共通指針として、策定します。



昭和 55 (1980) 年「栃の葉国体」

(株) 新朝プレス発行「栃の葉賛歌」より引用

1 大会の概要

大会名

第77回 国民体育大会

大会愛称

いちご^{いちえ}会 とちぎ国体

「いちご」の生産量が半世紀にわたって日本一の栃木県。「いちご王国」で行われる国体に参加するすべての人々が、県民の心のこもった様々なおもてなしに出会い交流を深めることで新たな夢や感動が生まれることを目指します。

スローガン

夢を感動へ。感動を未来へ。

アスリート達が夢に向かって突き進む姿は、大会に参加するすべての人に感動を与えます。その感動をレガシーとして、未来の人づくり、地域づくりにつなげていきたいという願いがこめられています。

マスコット



プロフィール

<u>なまえ</u>	<u>「とちまるくん」</u>
<u>うまれたところ</u>	<u>栃木県庁前のトチノキ</u>
<u>たんじょうび</u>	<u>11月11日</u>
<u>せいかく</u>	<u>ちょっとやんちゃな 頑張り屋さん</u>
<u>とくいなこと</u>	<u>とちまるくん体操、 かけっこ</u>
<u>ゆめ</u>	<u>栃木県の「元気」と「ニ コニコ」で全国のお友だ ちを笑顔にすること</u>

開催時期

冬季大会：令和4(2022)年1月下旬(7日間)
本大会：令和4(2022)年10月1日～11日の11日間
平成34(2022)年9月中旬～10月中旬の11日間
—(平成31(2019)年度に決定する予定)—

実施競技

正式競技(37競技)
冬季大会の正式競技(2競技)
特別競技(1競技)
公開競技(5競技)
デモンストラレーションスポーツ(31競技)(平成30(2018)年2月13日時点で18競技)

2 式典の概要

式典は、総合開・閉会式、各競技会の表彰式、大会旗・炬火リレーで構成します。

国民体育大会開催基準要項並びに第77回国民体育大会開催基本構想及び第77回国民体育大会式典基本方針に定められた内容を踏まえ、オリンピック・レガシーを生かし、「夢を感動へ。感動を未来へ。」のスローガンのもと、「いちご一会とちぎ国体」にふさわしい式典を目指します。

(1) 式典テーマ **夢を感動へ。感動を未来へ。**

(2) 式典の基本的な考え方

① 県民総参加のもと、簡素な中にも創意工夫を凝らしながら、感動を共有し、すべての人々の記憶に残る式典

- ・ 県民をはじめ、参加するすべての人々が協力し、全員で感動を共有できる式典を目指します。
- ・ 簡素化に努めながらも、工夫を凝らして創り上げることで、記憶に残る式典を目指します。

② 美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化などの栃木の魅力を全国に発信する式典

- ・ 栃木の美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化を取り入れることで、本県の魅力を全国に発信する式典を目指します。
- ・ 県民がふるさとの魅力を再認識するとともに、その魅力に誇りをもつことができる式典を目指します。

③ 訪れる人々を心のこもった「おもてなし」で迎え、出会いと交流により人々の絆が深まる式典

- ・ 県民がおもてなしの心をもって来県者を迎え、栃木県民の温かさが伝わる式典を目指します。
- ・ 参加するすべての人々の絆を深め、来県者と栃木との本物の出会いを演出する式典を目指します。

3 総合開・閉会式等の概要

(1) 総合開会式

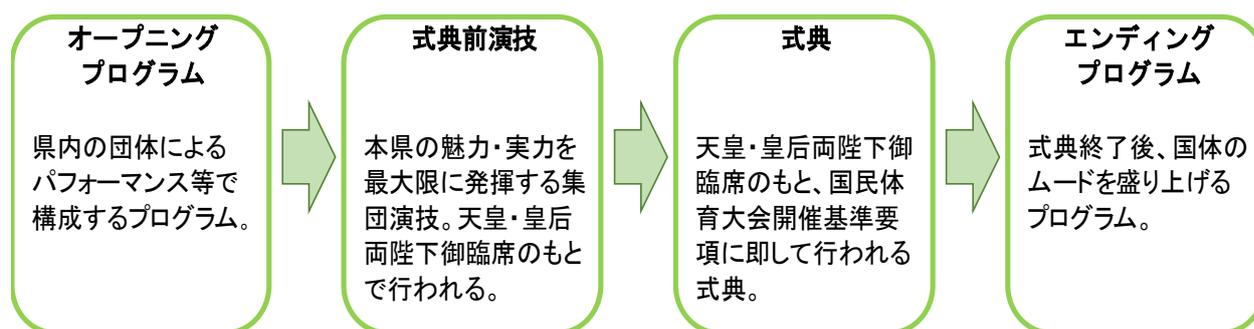
① 開催会場 栃木県総合運動公園（仮称 新スタジアム）

② 基本的な考え方

- ・ 選手一人一人が抱く、国体に懸ける思いや夢を表現し、これから始まる熱戦への期待感を高める内容とします。
- ・ 栃木の自然や歴史・文化を生かした内容で、会場全体を盛り上げるとともに、栃木の魅力を全国へ発信する内容とします。
- ・ 次の世代を担う子どもたちをはじめ、すべての県民にスポーツの素晴らしさを広め、生涯を通じた幅広いスポーツ活動に結びつくきっかけになる内容とします。

③ 構成及び展開イメージ

オープニングプログラム、式典前演技、式典、エンディングプログラムで構成



④ 総合開会式における式典の流れ（次第）

- 1 開式通告
- 2 役員・選手団入場
- 3 開会宣言（栃木県知事）
- 4 国旗掲揚
- 5 大会旗・日本スポーツ協会日本体育協会協旗・実施競技団体旗掲揚
- 6 栃木県旗・都道府県旗・会場地市町村旗掲揚
- 7 天皇杯・皇后杯返還
- 8 大会会長あいさつ（日本スポーツ協会日本体育協会会長）
- 9 文部科学大臣あいさつ
- 10 天皇陛下のお言葉
- 11 炬火入場・点火
- 12 選手代表宣誓
- 13 閉式通告



※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会日本体育協会と協議の上、正式に発表します。

(2) 総合閉会式

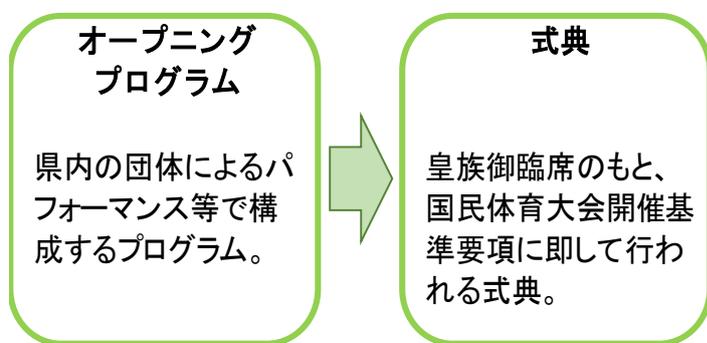
① 開催会場 栃木県総合運動公園（仮称 新スタジアム）

② 基本的な考え方

- ・ 多くの感動を与えてくれた選手の健闘を称え、大会に関わった全ての人への感謝を表現した内容にします。
- ・ 大会の中で生まれた一期一会の出会いを大切に、絆をさらに深める式典にします。
- ・ 「いちご一会とちぎ国体」での多くの感動を振り返るとともに、その感動を第22回全国障害者スポーツ大会や、第78回国民体育大会へつなげる式典にします。

③ 構成及び展開イメージ

オープニングプログラム、式典で構成



④ 総合閉会式における式典の流れ（次第）

- 1 開式通告
- 2 役員・選手団入場
- 3 成績発表
- 4 表彰状授与
- 5 天皇杯・皇后杯授与
- 6 大会会長あいさつ（日本スポーツ協会日本体育協会会長）
- 7 スポーツ庁長官あいさつ
- 8 栃木県旗・都道府県旗・会場地市町村旗降納
- 9 大会旗・日本スポーツ協会日体協旗・実施競技団体旗降納
- 10 国旗降納
- 11 炬火分火・納火
- 12 国体旗引継
- 13 次期開催県旗掲揚
- 14 閉会宣言（栃木県知事）
- 15 閉式通告



※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会日本体育協会と協議の上、正式に発表します。

(3) 冬季大会競技会開始式

① 開催会場 未定

② 基本的な考え方

- ・ 総合開会式の基本的な考え方を踏襲し、「いちご一会とちぎ国体」の幕開けにふさわしい内容にします。

③ 構成及び展開イメージ

歓迎アトラクション、式典で構成

④ 開始式における式典の流れ（次第）

- 1 競技会開始宣言
- 2 国旗掲揚
- 3 大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚
- 4 栃木県旗・会場地旗掲揚
- 5 大会会長トロフィー返還
- 6 日本スポーツ協会会長または文部科学省あいさつ
- 7 競技会会長（中央競技団体）あいさつ
- 8 歓迎のことば
- 9 選手代表宣誓

※ 次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に発表します。

(4) (3) 各競技会の表彰式

基本的な考え方

- ・ 全力を尽くした選手の健闘を称え、参加者同士で感動を分かち合うとともに、関わったすべての人が達成感や清々しさを感じられる内容とします。
- ・ 簡素な中にも、地域の特色を生かした内容とします。

～参考：国民体育大会開催基準要項細則（抜粋）～

8 本則第20項第5号（各競技会表彰式の要領）

各競技会の表彰式では、できるだけ簡素なものとし、概ね次のとおりとする。

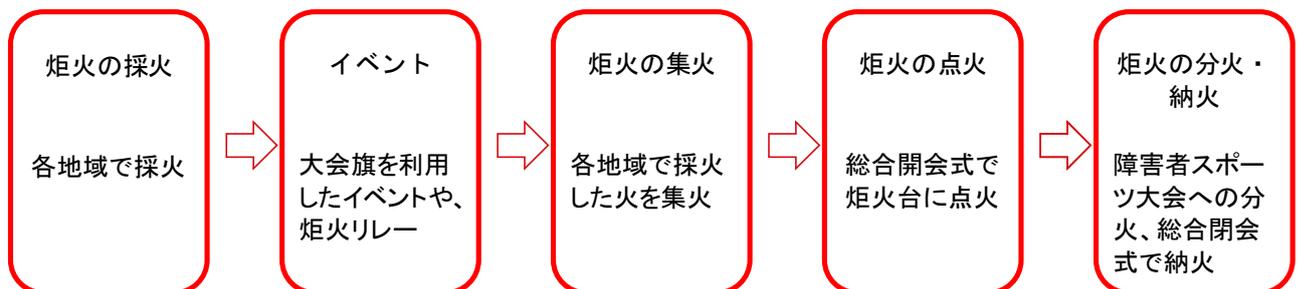
- ・ 成績発表
- ・ 表彰状授与
- ・ 大会会長トロフィー授与
- ・ 競技会会長閉会のあいさつ
- ・ 会場地代表歓送のことば
- ・ 国旗降納
- ・ 大会旗、実施競技団体旗、会場地市町村旗降納

(5)—(4)—大会旗・炬火リレー

① 基本的な考え方

- ・ 地域の歴史・伝統・文化を生かすことで、郷土意識を高める内容とします。
- ・ 子どもからお年寄りまで、幅広い年代の県民が参加することで、国体に向けた機運を高めます。
- ・ 県民や選手の心に刻まれる内容となるよう、工夫します。

② 展開イメージ



4 式典に係る今後のスケジュール

	平成30(2018)～31(2019)年度 (開催4～3年前)	平成32(2020)年度 (開催2年前)	平成33(2021)年度 (開催1年前)	平成34(2022)年度 (開催年)
全体計画	式典基本計画 策定	式典実施計画 策定	式典実施要項 策定	総合練習会・総合リハーサル実施 いちご一会とちぎ国体 本大会
式典運営	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングプログラムの基本的な考え方、構成 ・エンディングプログラムの基本的な考え方、構成 ・炬火リレーの基本方針、実施市町村の意向調査ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングプログラムの内容、時間配分、構成計画 ・エンディングプログラムの内容、時間配分、構成計画 ・炬火リレーの演出、入場・点火計画 ・全体のタイムテーブルほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングプログラムの演目、出演団体 ・エンディングプログラムの演目、出演団体 ・炬火リレーの演出、採火・点火方法ほか 	
式典音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・式典音楽の基本的な考え方 ・使用曲の構想 ・音楽隊編成の検討ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・式典音楽の使用曲、時間配分、演奏形態 ・音楽隊の編成、人数ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・式典音楽の演奏時間、使用曲名、作編曲名、指揮者選定、音楽出演団体ほか 	
式典演技	<ul style="list-style-type: none"> ・式典演技の基本的な考え方、展開、構想 ・出演団体の編成計画ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・式典演技の構成、内容 ・出演団体の選定、構想 ・音響、映像の計画ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・式典演技の出演者、演技内容、演技での使用用具、服飾、デザインほか 	

5 参考資料等

第 77 回国民体育大会 式典基本方針

(平成 29 (2017) 年 2 月 13 日 第 8 回常任委員会決定)

第 77 回国民体育大会の式典は、国民体育大会開催基準要項(以下「基準要項」という。)及び第 77 回国民体育大会開催基本方針並びに第 77 回国民体育大会開催基本構想を踏まえ、「夢を感動へ。感動を未来へ。」のスローガンのもと、「いちご一会とちぎ国体」にふさわしい式典とする。

1 基本理念

- (1) 県民総参加のもと、簡素な中にも創意工夫を凝らしながら、感動を共有し、すべての人々の記憶に残る式典とする。
- (2) 美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化などの栃木の魅力を全国に発信する式典とする。
- (3) 訪れる人々を心のこもった「おもてなし」で迎え、出会いと交流により人々の絆が深まる式典とする。

2 式典の構成

式典は、国民体育大会の総合開・閉会式、各競技会の表彰式及び大会旗・炬火リレーで構成する。

- (1) 総合開会式・総合閉会式
総合開会式及び総合閉会式は、基準要項第 19 項第 3 号に規定する各項目及び基準要項第 19 項第 4 号に規定する集団演技並びに役員・選手団入退場で構成する。
- (2) 各競技会表彰式
各競技会表彰式は、基準要項第 19 項第 5 号及び同細則第 7 項の規定する各項目で構成する。
- (3) 大会旗・炬火リレー
大会旗・炬火リレーは、炬火採火、大会旗・炬火リレー及び炬火集火で構成する。

3 式典の企画・運営

- (1) 総合開会式・総合閉会式
総合開・閉会式は、第 77 回国民体育大会栃木県準備(実行)委員会が企画し、第 77 回国民体育大会栃木県実施本部(仮称)が運営に当たる。
- (2) 各競技会表彰式
各競技会の表彰式は、第 77 回国民体育大会栃木県準備(実行)委員会が別に定める要項に基づき、会場地市町村準備(実行)委員会が関係競技団体と協議の上、企画・運営に当たる。
- (3) 大会旗・炬火リレー
大会旗・炬火リレーについては、別に定める要項に基づくものとする。

第 77 回国民体育大会開催基本構想（抜粋）

（平成 27（2015）年 11 月 5 日 第 4 回常任委員会決定）

第 2 章 第 77 回国民体育大会の基本目標と目指す方向

1. 第 77 回国民体育大会の基本目標

オリンピック・レガシー（遺産）を生かし、
県民総力を挙げて、栃木の魅力・実力を世界に発信

平成 32（2020）年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の 2 年後となる好機を生かし、ハード・ソフト両面のオリンピック・レガシー（遺産）を可能な限り受け継ぎながら、国内最大のスポーツの祭典として、全ての県民が総力を結集し、本県の魅力・実力を国内外に積極的に発信する大会となることを基本目標として定めます。

また、基本目標の実現に向けて、次の 4 つの項目を大きな柱として、様々な取組を展開していきます。

2. 栃木県が目指す国体

取組 1 県民総参加で感動を創出する国体

全県民が総力を挙げて、郷土を代表する競技者を応援するとともに、競技会等を「する」「みる」「支える」といった関わりを持つことで、県民総参加の大会を目指します。

取組 2 栃木の魅力を世界に発信する国体

本県の豊かな自然と地域の特色を活かし、観光・歴史・文化的事業の推進を図りながら地域の絆を深め、本県を訪れる人々を「おもてなしの心」で温かく迎える大会を目指します。

取組 3 生涯にわたりスポーツ活動を推進する国体

指導者の養成や選手の育成など、競技力の向上を図りながら、すべての県民にスポーツの喜びを広め、健康増進と体力向上を推進し、生涯を通じた幅広いスポーツ活動に結びつく大会を目指します。

取組 4 地域スポーツの活性化につながる国体

競技会の開催に当たっては、県・市町村施設を有効に活用するとともに、開催される競技が会場となる市町村に普及し、地域に根付くような大会を目指します。

国民体育大会開催基準要項（抜粋）

（平成 30（2018）年 4 月 1 日 公益財団法人日本スポーツ協会）

2 0 大会の式典

【本大会】

- (1) 大会の式典を行う場合は、冬季大会を含め回数を同じくする大会の総合開・閉会式として、開催県実行委員会が選定した競技会場地で行う。ただし、本大会を複数の都道府県において開催する場合は、別に協議する。
- (2) 式典の所要時間は、原則として 60 分以内とする。
- (3) 式典は、できるだけ簡素なものとして、次の項目を必ず式典中に取り入れるものとする。ただし、その他の項目については、開催県実行委員会において企画の上、日本スポーツ協会と協議して定める。

総合開会式 開会宣言
国旗掲揚
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚
開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗掲揚
天皇杯・皇后杯返還
大会会長あいさつ
文部科学大臣あいさつ
天皇陛下お言葉
炬火点火
選手代表宣誓

総合閉会式 成績発表
表彰状授与
天皇杯・皇后杯授与
大会会長あいさつ
スポーツ庁長官あいさつ
開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗降納
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納
国旗降納
炬火納火
国体旗引継
次期開催県旗掲揚
閉会宣言

- (4) 総合開・閉会式時に集団演技を実施することができる。
- (5) 競技会終了後の表彰式は細則第 8 項により実施することができる。

【冬季大会】

冬季大会の各競技会においては、開始式並びに表彰式を実施するものとする。ただし、その場合はできるだけ簡素なものとし、内容については、開催県実行委員会において企画の上、日本スポーツ協会と協議して定める。

2 1 国体旗引継ぎ及び保管

- (1) 国体旗は、総合閉会式時に本大会開催県代表者から次回本大会開催県代表者に引き継がれる。
- (2) 前号の方法は、大会ごとの事情に応じて行う。
- (3) 本大会の開催期間を除き、国体旗の保管は、日本スポーツ協会が行う。

2 2 大会旗及び炬火リレー

- (1) 大会旗及び炬火リレーは、開催県内に限り実施することができる。
- (2) リレーの方法については、開催県実行委員会が企画し、実施する。